

デキる「シバフ」は国境を超えて結果を出す。



米国ジョージア州種子開発委員会による輸出前検査

大陸間を移動したティフブランド

米・ジョージアから鳥取、タイ・バンコクを経由してマレーシア・東海岸クアンタンの地で子孫を増やすティフブランド。9年前にアメリカを飛び出し、日本（鳥取）、タイを経由し、船でマレー半島へと移動。最後は4万人収容のスタジアムを安住の地を選びました。ここに至るまでに、アメリカ人、メキシコ人、日本人、タイ人、マレーシア人、ミャンマー人、ラオス人、バングラデシュ人、インドネシア人などあらゆる大陸の多様な人々に仕事を創り出してきた、まさに「デキるオトコ」ならぬ、「デキるシバフ」、ティフブランド。

2015年、27000以上の個体から選抜されたそのエリート芝は東京五輪、ラグビーW杯での需要を満たすため、アメリカ・ジョージア州アトランタ郊外の芝畑から鳥取の砂地に降り立ちました。その名はティフブランド。その後、鳥取の良質な砂で大切に育てられ、頑健に育った彼の子孫は、多くの競技場へ出荷され、芝生管理のプロからその驚異的特性を高く評価されてきました。



ある日、その噂を聞きつけたマレーシア・クアラルンプールの競技場造成企業からチュウブにコンタクトがあり、同国への出荷を打診されました。

その引合いに、一旦は海外初出荷の可能性に胸を躍らせたものの、日本からマレーシアへの芝の輸出は実質的に不可能であることがわかりました。これを受けて、アメリカ本土からマレーシアへの直送を検討しました。しかし、当時は新型コロナの影響で旅客・貨物便とも大幅減便し国際物流が停滞する中、アメリカからマレーシアへの直行便はないという事実が判明しました。勿論、第三国経由便を使えば出荷可能でしたが、経由地での積み替え時に、高温化し、ムレによる全損リスクが高く、とてもリスクが高く現実的ではありませんでした。まさに八方塞がりの状態になり、マレーシアへの輸出計画はコロナ渦ともあいまって暗礁に乗り上げてしまいました。

ソリューションを模索し続ける中、マレーシアの隣国タイであれば比較的容易に日本の芝を輸入でき、しかも関空から直行便があるとの情報を入手しました。タイからマレーシアやシンガポールには日常的に芝が冷蔵コンテナで流通しており、まず日本からタイに持ち込み、タイで育てた芝をマレーシアに納品するルートなら、物流面での安全性も高く、実現可能性が高いことがわかりました。当社は当時、ゴルフ場専用の芝で、タイの老舗生産者と業務提携し経営幹部もタイの圃場を熟知していたため、日本側、タイ側の合意形成に時間はかかりませんでした。

名案は直ちに実行に移されました。チュウブはライセンスを保有する米国ジョージア大学研究基金及び ITGAP (国際芝草品種純度保証プログラム) 本部にコロナ下での物流事情を説明、鳥取での品質検査体制やこのプロジェクトの重要性を粘り強く説得した結果、同機関より特例として鳥取産のタイへの移植承認をうけ、鳥取産ティフグランド輸出プロジェクトがジョージア作物改良協会公認の下で始動しました。

2022年9月、鳥取県湯梨浜町で切り出されたティフグランドの切芝は、輸出検疫目的で、広島県東部の洗浄工場にて徹底的に分解・洗浄、1トン弱箱詰めされ、関空を経由し、バンコクへ空輸、無事タイの植物検疫をクリアし、その後、バンコク北部のサラブリにある提携企業の ITGAP 認定サンドベースナーセリーに移植されました。その後約2年に渡り、大切に増殖、維持されてきました。しかしながら、一旦利用を予定していた現場が白紙撤回となるなど、芝生の完成後もしばらく出荷は叶いませんでした。



2024年11月、鳥取・湯梨浜町を出荷してから約2年2か月後、タイからマレーシアに向け 40ft の海上冷蔵コンテナで 2000kg (10 kg 入り×200 箱) のティフグランドは無事出荷され、マレーシアパハン州クアンタンにある、スタジアム・ダルル・マクムール、約 7900 m² のインフィールドに施工されました。東南アジア初のティフグランドは、4万人収容の観覧席を有すスタジアムでの採用という形で関係者に注目されるデビューを迎えることができ、東南アジアのスポーツターフ市場の底上げが大いに期待されます。この「できるシバフ」、次はアジアのどの街で活躍してくれるのか、アジアでのティフグランドの動向に目が離せませんね。

Pahang's Darul Makmur Stadium gets Malaysia's first Bermuda Tifgrand grass pitch

By Tnalagesh - November 29, 2024 @ 8:24pm



Pahang Communications and Multimedia, Youth, Sports and Non-governmental Organisations Committee chairman Fadzli Mohamad Kamal (right) said the re-turfing works has entered the final phase and the stadium will be ready by March next year. NSTP/MUHAMMAD DELIMA ATAN

KUANTAN: The Darul Makmur Stadium here will become the first stadium in the country to be carpeted with the vibrant green Bermuda Tifgrand grass replacing the existing cow grass pitch.

Pahang Communications and Multimedia, Youth, Sports and Non-governmental Organisations Committee chairman Fadzli Mohamad Kamal said the re-turfing works has entered the final phase and the stadium will be ready by March next year.

"The grass is a new breed from Japan and the first used in the sports industry in Malaysia. The Bermuda Tifgrand breed is tough, creeps along the ground forming a dense turf and absorbs water efficiently which will prevent puddles or the field becoming muddy.

"The Tifgrand breed has a deep root system and it is expected to fully mature by March next year. The grass here was planted about two days ago and requires a lot of water for the next 10 days," he said after

パハン州のダルル・マクムール・スタジアムにマレーシア初のバミューダ・ティフグランドの芝生ピッチが設置される

Tnalagesh 著 - 2024年11月29日午後8時24分



パハン州通信・マルチメディア・青少年・スポーツ・非政府組織委員会のファズリ・モハマド・カマル委員長 (右) は、芝張り替え工事が最終段階に入っており、スタジアムは来年3月までに完成する予定だと語った。NSTP/MUHAMMAD DELIMA ATAN

クアンタン：このダルル・マクムール・スタジアムは、既存の牛芝のピッチに代わり、鮮やかな緑のバミューダ・ティフグランド芝で敷き詰められる国内初のスタジアムとなる。

パハン州通信・マルチメディア・青少年・スポーツ・非政府組織委員会のファズリ・モハマド・カマル委員長は、芝張り替え工事は最終段階に入っており、スタジアムは来年3月までに完成する予定だと語った。

「この芝は日本から来た新しい品種で、マレーシアのスポーツ業界で初めて使われました。バミューダティフグランド種は丈夫で、地面に沿って這って密な芝を形成し、水を効率的に吸収するため、水たまりができたり、フィールドがぬかるんだりするのを防ぎます。」

「ティフグランド種は根が深く、来年3月までに完全に成長すると予想されています。この芝は約2日前に植えられ、今後10日間は大量の水が必要です」と、本日ダルル・マクムール・スタジアムを視察した同氏は語った。